

## 平成 24 年度 第 1 回暁木会 役員会

1. 日 時 平成 24 年 5 月 21 日 (月) 18:30～
2. 場 所 三宮センタープラザ西館 6 F 3 号室
3. 出席者 井澤 会長、小畑 副会長、伊藤 副会長  
常任幹事(久保、山口、宇都、古川、野並、矢野、伊賀)  
KTC 本下 副理事長、田中 理事、水池 理事  
来馬 顧問、松下 顧問、梶谷 顧問  
神戸大学 織田澤 准教授

### 4. 議事内容

#### (1) 総会報告・課題

- ・ これまで、氏名と併せて就職先を読み上げていたが、最近の就職状況は厳しく、就職先未定者への配慮から読み上げを控えた。同じ理由で書面での配布も控えた。結果的には、本人からの自主的報告となりよかった。
- ・ 初めての試みであった対面形式は、顔が見えてよかった。
- ・ ゼミの謝恩会については、大学側も日程に配慮してほしい。
- ・ 修士論文優秀発表賞については、系毎の選考のため 4 名となったが、人数が多すぎるように思われるので、次年度に向け大学側で持ち帰り検討する。
- ・ 表彰受賞者、新会員の挨拶については、事務局及び大学で進行に配慮が必要。

#### (2) 年間行事予定

- ・ 大阪暁会 (40～50 人) が昨年度より復活しており、今年も 10 月 5 日に開催予定と聞いており行事予定に追記

#### (3) 大学意見交換会での提案事項

- ・ 暁木会学術振興基金から大学への援助金の贈呈も行う。

KTC は、今年度大学への援助金を 610 万円から 510 万円に減額したが、暁木会は学術振興基金から大学への援助金 40 万円ままとしている。

#### (4) 会費会員増強方策

- ・ かつて 1,000 人の会費会員を目標とし頑張ってきた。それを達成し、1,300 人を目標としようとしたが、物故者もあり数値的に厳しい。何か次の新たな目標も必要であり、検討が必要。
- ・ 会社組織なら、勧誘ノルマもあるがなじまない。
- ・ 予算的に回っている間は良いが・・・
- ・ KTC は、終身会費制ということもあり、暁木会の 30% と比べ 70% と率は高い。
- ・ 2 年続けて、新卒の会費登録が” 0 ” というのは、大きな問題であり、卒業 10 年以内の者に対しては、何らかの対策が必要である。

#### (5) 名簿更新について

- ・ 実際の修正作業は、KTC に作業依頼 (20 万円) して 9 月～10 頃に行っていただく。

- ・成果品は、12月1日付の暁木会ニュースと一緒に発送予定
- ・往復はがきによる更新は、費用対効果が少なく行わない方向で検討中だが、会費会員に対しては、何らかの更新手段が必要であり、メールアドレスも分からず既にリタイアされた会員に対しては往復はがきでの対応する。

<意見>

- ・非会員の情報も掲載されているが、会費会員との差は、名簿が送られてくるかどうかだけであり、いっそう個人情報の扱いも鑑みて会費会員情報のみの名簿としてはどうか。
  - ・名簿に非会員の印\*を入れておくと、学年幹事も非会員が分かりやすいのでは。
- 幹事には、非会員が分かる名簿を別途お配りしている。
- ・最近の卒業生には、名簿に名前も掲載してほしくないという者もいる。昔は、名前があるのがステータスだった。
  - ・紙ベースの名簿の必要性がなくなっているのではないかと、友達同士はメールや携帯で十分と思っている者もいるのではないかと。
  - ・大学としても、会費登録が”0”というのは、どうかと思う。その実情をどれだけの先生がご存じなのか？。
  - ・大学も暁木会にはお世話になることも多く、暁木会から大学にお願いしていただければ、何らかの対応は考えられると思う。

## (6) 暁木会ニュース目次案

- ・H23年度までKTCのニュース発送にあわせて発行してきたが、今年度から秋はウェブのみとなったので、春のみの発送となる。ただ今年度は、名簿発行があり12月に併せて発送する。
- ・次回のニュースは、同窓会報告枠に田中先生、中山先生の最終講義の記事にしてはどうか。
- ・HPの更新は、月1回以上トピックがあれば行っている。

<意見>

- ・出来ることなら、HPの更新も毎月初めに行うなど定期的であれば見る者も増えるのではないかと。
- ・開催通知だけでなく、議論内容なども掲載する方が興味がわく。
- ・HPも会費会員だけ見ることができるようにしてはどうか。
- ・HPに会費会員の現状を掲載し、周知を図っていくことも大事ではないかと。

## (7) その他

- ・卒業生の口頭だけの挨拶は、非常に分かりにくい。位置づけとしては、先輩方へのご挨拶であり、紙ベースの名簿（就職先記載）は必要である。
- ・総会に出席するOBも新入社員も分からず、何のために行くのか分からない。このようなことでは、同窓会の意味がない。
- ・他の大学の状況も調べるなどして、引き続き検討すべき。